



自覚と決意を新たに
二十歳のつどい



1月7日(日)13時30分より保原体育館で開催され、旧5町の553人が大人への第1歩を踏み出しました。新成人らは幼少期に東日本大震災東電

第1原発事故を経験、10代後半はコロナ禍に見舞われました。今を生きる大切さを確認し、自分の意志と力で困難を乗り越えて下さい。

小正月のだんごさし

1月12日(金)

講師は郷土歴史研究家の遠藤利夫さん。保原幼稚園年長・年中の園児たち70名が参加し行われました。団子等を飾り、願い事を書いて枝につけました。



日本中が浮き立つた元旦

理事長 佐藤貞夫

能登半島地震での甚大なる被害に只々胸が痛み、東日本大震災を想起させられ愕然とする。被害者の過酷な環境には察するに余りある。全ての犠牲者のご冥福と歯痒い状況が続いているが被災地の早期復興を祈念する。

「天災は忘れた頃にやって来る」は寺田寅彦（物理学者）の言だが、近年は「天災は忘れないうちにやってきた。

今回の能登地震で感じたことは、停電下では万能と見做される人工知能（A.I.）も無力に等しく、結局は極限の事態に置かれた時、最も頼りになるのは人間同士の繋がりであり励ましである事を身に染みて知った。

新年度は次代を担いゆく中長期的な人材育成を全力で進めたい。



まちなか食堂・もちつき体験

12月23日（土）

子どもたちは、ボランティアの方に千本杵でのもちつきと鏡餅作りを教えていただきました。初めての経験でした。

その後、ボランティアの方に作っていただいた、「きなこ」「ひきな」「雑煮」の3種類のもちを食べました。とても美味しかったです。



門松づくり

12月10日（日）

講師は、遠藤利夫さん。多くの教材を準備され、丁寧な説明により我ながら満足した作品ができました。お正月を明るく楽しく過ごせます。



しめ縄づくり

12月14日（木）

保原小学校手芸クラブの皆さんのが参加。しめ縄は、縄を作ることから始まります。初体験の小学生は四苦八苦です。地元ボランティアの方々（遠藤利夫様、木戸勇様、幕田清作様、斎藤昭夫様）の丁寧な指導を受けながら何とか完成しました。



健康介護教室

12月17日（日）

講師は、保原地域包括支援センターの森美樹さん。「脳を元気にさせる」という内容で講演され、笑うことの素晴らしさを学びました。



理事会

11月30日（木）

「ロイヤルホテルほていや」で12名が参加し「上半期事業報告及び決算報告」「振興会地域づくり計画書作成」について話し合われました。



町内名所旧跡を訪ねて

淨運寺 第二十世住職
村松清道

永

禄元年（一五五八）心蓮社
良吞上人淨運大和尚により
開基。山号は菩提山、院号は大樹院。
浄土宗名越派の広野町折木成徳寺
末。本尊は阿弥陀如来（江戸時代の
作）。

九間半七間の堂宇を中心に下保原
郷唯一の念佛根本道場として広く信
仰を集めだが、度重なる火災により
堂宇並びに什物を焼失。現在の本尊
は昭和三十六年、十九世觀蓮社法譽
上人眞雄大和尚により建立された。
境内には木喰上人作といわれる

本堂

供養塔

地蔵尊

不動明王を祀る成田不動尊、信達二
十四地蔵靈場中一番延命地蔵尊等
がある。また境内には多くの供養
碑があり、地域の人々による一切精
霊往生安樂を願う別時念佛血縁が多
く行われたことが知られ、明治十五
年当時流行した疫病で亡くなつた方
の供養のため百万遍供養塔も建てら
れている。

奥羽念佛史上に名高い捨世派念佛
聖である無能上人の弟子で桑折無能
寺を基立した不能上人は、当寺六世
良恩上人の元で出家修行をしてお
り、墓地に供養碑がある。さらに墓
地には、保原陣屋にあつた白川棚倉
両藩両藩家臣の墓石等も残されてい
る。

子ども祭り

11月18日（土）

保原SC運営協議会主催・保原小PTA共催で、ボランティアの皆様方に協力いただき、保原小学校で開催。15の体験ブースにたくさんの子どもたちが参加し、笑顔あふれるひと時を過ごしました。



②ティーボール



③伝承太鼓



①はねくら30m走



④射的

うたごえ喫茶

1月11日（木）

講師は、千本松四郎さん。「1月1日」の歌で元気にスタート。「トトロ」など数曲をリクエストし楽しく歌いました。休憩後、1月の誕生会、ボタンアートの抽選会で楽しみました。



伝統製法復活へ

玉鈴醤油株

四代目社長 鈴木 利幸

一九五六年（昭和三一）、先代

鈴木藤三郎は、江戸時代末期から続いた信達地方の豪商福井商店の醤油醸造を引き継ぎ、個人営業を開始しました。当時は醤油にうま味調味料を加味し、甘めの味で販売しましたが、コスト高で中々売れませんでした。

その後「玉鈴醸造元」の名称に変更し、有限会社玉鈴醤油店を設立。一九六二年（昭和三七）に工場を現所在地に移転し、「玉鈴醤油株式会社」としました。

本社の醤油は、代々続く甘みのある味付けが特徴です。安ければいい

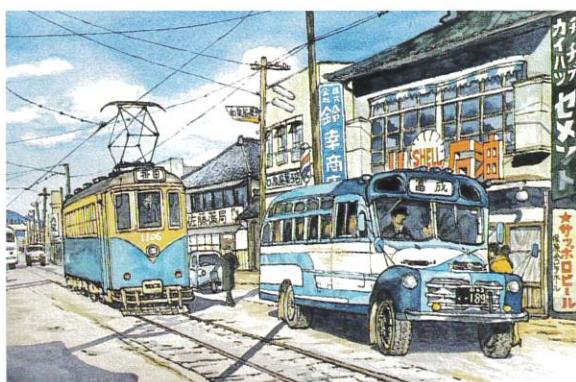


というイメージから、醤油に調味料を加え、独自の味を造り出す為に試行錯誤を繰り返した結果、「甘さと塩味のバランスがとても良い」と「だし醤油のこだわり」と共に高い評価をいただいております。

伝統的な醤油作りの方法を後世に伝えようと「木桶仕込み」を復活させました。大量の仕込みが可能なタンクの普及などで木桶を使った製造は、近年わずかになっていました。手間がかかるものの唯一無二の味わいを生み出し、ブランドを確立していきたいと思います。

先日、保原小学校の児童が見学に訪れました。私からの説明後、大桶となる木材に自分の名前を書きました。木桶の寿命は百年と言われておった。木桶の寿命は百年と言われており、未来へのメッセージとして企画しました。

カメラを覗くと



昭和30年ごろの保原町4丁目（斎藤芳明様の作品）



昭和42年まで使われていた保原小学校

■あとがき

被災された方々にお悔やみとお見舞いを申し上げ、一日も早い復興を願うものです。

去る2月25日（日）、柏町町内会集会所で50名が参加し、防災訓練（消火訓練、炊出し訓練、防災講話）を実施しました。

防災意識の再確認と町内会の親和・協力向上に役立ちました。



▼アンケート調査

保原地区町内会長会では、36町内会の運営や活動等の取り組み状況を10項目にわたりアンケートをとりました。この程、集計結果がまとまりましたので、今後の運営に生かして参ります。